

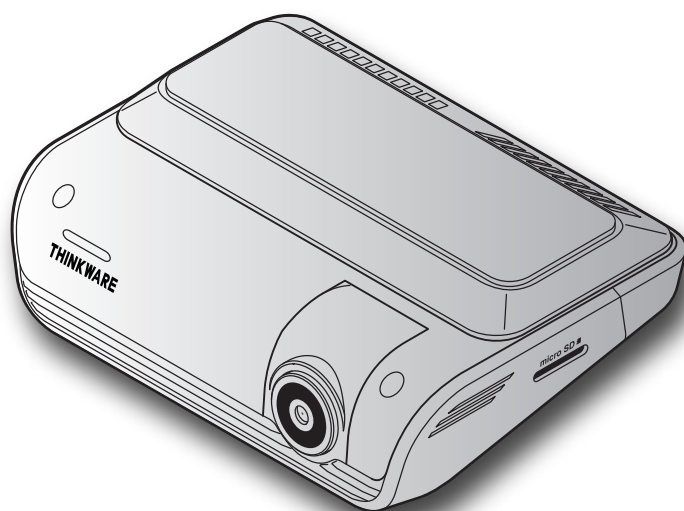
THINKWARE DASH CAM™

Q1000

ユーザーガイド

本製品は、自動車の運転中にビデオを録画します。

製品の正しい使用および維持のため、このガイドをよくお読みになり、指示に従ってください。



本製品を使用する前に

本製品について

本製品は、自動車の運転中にビデオを録画します。本製品は、事件や道路事故を調査するときの参考のためにのみ使用します。本製品は、すべての出来事を録画することを保証するものではありません。本機では、衝撃が小さすぎて衝撃センサーが起動しない事故や自動車のバッテリー電圧が無効になるような衝撃の大きい事故は録画できないことがあります。

ビデオ録画は、本製品が完全にオンになる（起動が完了する）までは開始しません。すべての自動車事故を確実に記録するには、電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。

THINKWAREは、事故を原因とするいかなる損害に対する責任や事故の結果に対してサポートを提供する責任を一切負いません。

リモートドアロック装置の設置、ECUの設定またはTPMSの設定などの自動車の設定または運転の状況によっては、本製品の一部の機能がサポートしていない場合があります。また、ファームウェアのバージョンによっては、本製品の性能や機能に影響を与えることがあります。

ユーザーガイドについて

当社のサービスポリシーが更新される際に、ユーザーガイドの情報も変更される場合があります。

このユーザーガイドはTHINKWARE Q1000モデルのみを対象としており、技術的なエラー、編集上のエラー、情報の欠落が含まれる可能性があります。

著作権

このガイドの内容および地図に対するすべての権利はTHINKWAREによって留保され、著作権法のもと、保護されています。THINKWAREの書面による同意なしに、このガイドを無断で複製、改訂、出版、配布することは禁止されており、刑事訴訟の対象となります。

登録商標

THINKWARE Q1000はTHINKWAREの登録商標です。

このガイドの他の製品ロゴおよびサービス名は、関連企業の商標です。

FCC宣言

本機はFCC Part 15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従って行われます。(1) このデバイスが有害な干渉の原因となってはならず、(2) このデバイスは望ましくない動作の原因となる可能性のある干渉を含む受信したあらゆる干渉に耐えられなくてはなりません。

この装置は、FCC Part 15に準拠するClass Bデジタルデバイスの制限に従うことがテストにより確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対する合理的な保護を提供するために設計されています。この装置は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。説明書の通りに設置または使用しない場合、無線通信への有害な干渉の原因となることがあります。ただし、特定の設置により干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオまたはテレビへの有害な干渉の原因となっているかどうかは、本装置のオン/オフを切り替えることで判断できます。ユーザーが以下のひとつまたは複数の手段を講じて干渉を補正することが推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または移動する。
- 本装置と受信機の距離を大きくする。
- 本装置を受信機が接続されているコンセントとは別系統のコンセントに接続する。
- 販売業者または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。
- 本機とアンテナを同じ場所に設置したり、他のアンテナや送信機と組み合わせて使用したりしないでください。
- 本機の高周波のばく露要件を満たすために、アンテナと人との間は20cm以上離してください。

FCC警告：本装置を法令順守の責任を負う当事者の明示的許可なく変更または改造した場合、当局による本装置の使用許可が無効になることがあります。

FCC ID: 2ADTG-Q1000

RSS-247に関する情報

本装置は、管理されていない環境に対して設定されたIC放射線被曝限度に適合しています。本機のラジエーターをお客様の体から20cm以上離して設置し、使用してください。

本デバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省のライセンス免除RSS規格に準拠した送信機や受信機が使用されています。

本機を法令順守の責任を負う当事者の明示的許可なく変更または改造した場合、当局による本装置の使用許可が無効になることがありますので、ご注意ください。

注意：動作は次の2つの条件に従って行われます。(1) 本機が干渉の原因となってはならず、(2) 本機は本機の望ましくない動作の原因となる可能性のある干渉を含むあらゆる干渉に耐えられなくてはなりません。

本装置はカナダICES-003に準拠するClass Bデジタル装置です。

IC: 12594A-Q1000

目次

安全性に関する情報	5	5. THINKWARE CONNECTEDの使用	25
1. 製品概要	8	5.1 THINKWARE CONNECTEDへの本製品の接続	25
1.1 同梱物	8	6. PCビューワの使用	26
1.1.1 標準品	8	6.1 システム要件	26
1.1.2 付属品 (別売)	8	6.2 PCビューワの詳細	26
1.2 各部の名称	9	6.2.1 PCビューワのインストール	26
1.2.1 フロントカメラ (本体) - 正面図	9	6.2.2 PCビューワ画面のレイアウト (Windows用)	27
1.2.2 フロントカメラ (本体) - 背面図	10	6.2.3 PCビューワ (Windows用) での録画されたビデオの再生	28
1.2.3 リアカメラ (別売)	11	6.2.4 PCビューワ画面のレイアウト (Mac用)	29
1.3 メモリーカードの取り外しと挿入	11	6.2.5 PCビューワ (Mac用) での録画されたビデオの再生	30
2. 本製品の設置	12	7. 設定	31
2.1 フロントカメラ (本体) の設置	12	7.1 メモリーカードの管理	31
2.1.1 設置位置の選定	12	7.2 カメラの設定	31
2.1.2 本製品の固定	13	7.3 録画機能の設定	32
2.1.3 電源ケーブルの接続	14	7.4 交通安全警告機能の設定	33
2.2 リアカメラ (別売) の設置	15	7.5 システム設定	33
2.2.1 設置位置の選定	15	8. 製品情報の確認	34
2.2.2 リアカメラの固定	16	8.1 製品情報の表示	34
2.2.3 リアカメラケーブルの接続	17	8.2 GPSへのアクセスおよび設定	34
2.3 RADARモジュール (別売) の設置	17	9. ファームウェアのアップグレード	35
3. 録画機能の使用	19	10. トラブルシューティング	36
3.1 本製品のオン/オフ	19	11. 仕様	37
3.2 ファイルの保存場所について	19		
3.3 継続録画機能の使用	19		
3.4 手動録画	20		
3.5 SOS録画機能の使用	20		
3.6 駐車モードの使用	21		
3.7 スーパーナイトビジョン機能の使用	23		
3.8 交通安全警告機能の使用	23		
4. モバイルビューワの使用	24		
4.1 本機のスマートフォンへの接続	24		
4.2 モバイルビューワの画面レイアウトの表示	24		

安全性に関する情報

安全性に関する次の情報を読み、本製品を適切に使用してください。

本ガイドの安全に関する記号



「危険」- 回避しなければ、けがや死亡の恐れのある危険があることを指します。



「警告」- 回避しなければ、軽傷や物的損害が生ずる恐れのある危険があることを指します。



「注意」- ユーザーが本製品の機能を活用するのに役立つ有益な情報を提供します。

適切に使用するための安全性に関する情報

運転と製品の操作



- **自動車を運転中に本製品を操作しないでください。** 運転中に気が散ると事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。
- **運転手の視野を妨げない場所に本製品を設置してください。** 運転手の視野を妨げることは事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。フロントガラスに本製品を取り付ける前に、法律や地方条例を確認してください。

電源



- 濡れた手で電源ケーブルを操作したり、取り扱ったりしないでください。感電死の恐れがあります。
- 損傷した電源ケーブルを使用しないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。
- 電源ケーブルはあらゆる熱源から離しておいてください。電源コードの断熱材が溶けて、電気火災や感電死につながる恐れがあります。
- 電源ケーブルと正しいコネクタを使用して、電源ケーブルを適切な場所にしっかりと接続してください。電気火災や感電死の恐れがあります。
- 電源ケーブルを改造したり、切断しないでください。また、電源ケーブルの上に重い物を負いたり、過度に力を入れて電源ケーブルを引っ張ったり、差し込んだり、曲げたりしないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。



- アクセサリーはTHINKWAREまたはTHINKWARE認定ディーラーの純正品のみを使用してください。THINKWAREは、サードパーティーのアクセサリの互換性や通常動作を保証しません。
- 電源ケーブルを本製品に接続するときは、ケーブルのプラグと本製品の電源ケーブルコネクタをしっかりと接続してください。接続がゆるいと、自動車の振動により電源ケーブルが外れることがあります。ビデオ録画は、電源コネクタが接続されていない場合は使用できません。

子どもやペット



- 本製品を子どもやペットの手の届かない場所に設置してください。本製品が破損した場合、致命的な損傷になる恐れがあります。

本製品に関するその他の情報

製品の管理と操作



- 本製品の電源が入っているときに、本製品と取り付け台を分離しないでください。製品が動作不良する恐れがあります。
- 本製品を直射日光などの強い光にさらさないでください。レンズや内部回路が故障する恐れがあります。
- 本製品は、14°F～140°F (-10°C～60°C) の温度で使用し、-4°F～158°F (-20°C～70°C) の温度で保管してください。指定温度の範囲外で使用または保管した場合、本製品が設計通りに機能しなくなり、物理的に致命的な損傷につながる恐れがあります。こうした損傷は保証の範囲外です。
- 本製品の設置位置が適切かどうかを頻繁に確認してください。極端な道路状況によって生じた衝撃により設置位置がずれることがあります。本製品を本ガイドの通りの位置に設置してください。
- 本機のボタンを押す際は、過度な力を加えないでください。ボタンが損傷する恐れがあります。
- 本製品の清掃に化学的な洗浄剤や溶剤を使用しないでください。本製品のプラスチック部品が損傷する恐れがあります。やわらかくてきれいな、乾燥した布材を使用して本製品を清掃してください。
- 本製品を分解したり、衝撃を与えたりしないでください。本製品が損傷する恐れがあります。許可なく本製品を分解した場合、本製品は保証の対象外になります。
- お取り扱いにご注意ください。本製品を落したり、誤った取り扱いをしたり、外的ショックを与えた場合、損傷および/または動作不良の恐れがあります。
- 本機に異物を入れようとしないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- 過度な湿度を避け、本製品に水が入らないようにしてください。湿度や水にさらされると、本製品内部の電子部品が故障する恐れがあります。



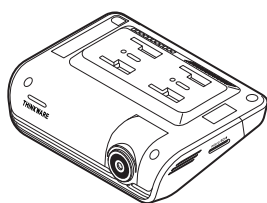
- 車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが切れていても電力がドライブレコーダーに供給され続ける場合があります。連続的に電力が供給されている12Vのコンセントに本機を取り付けた場合、車両のバッテリー消耗につながる場合があります。
- 本機は自動車の運転中にビデオを記録するように設計されています。ビデオの画質は昼夜、街灯の有無、トンネルへの出入り、および外気温などの気象および道路条件に影響されることがあります。
- 録画されたビデオが操作中に失われた場合には、THINKWAREは一切責任を負いません。
- 本機は強い衝撃を伴う車の衝突に耐えられるように設計されていますが、事故により損傷した場合でも、THINKWAREは事故の録画を保証しません。
- 最適な画質を得るためフロントガラスとカメラレンズの汚れを落としてください。粒子や物質がカメラレンズやフロントガラスに付着していると録画された画像の質が悪くなる場合があります。
- 本機は車内で使用することを目的としています。

1. 製品概要

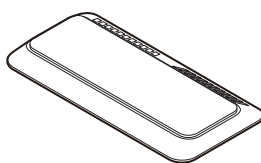
1.1 同梱物

本製品の箱を開封した際に、同梱物がすべて揃っていることを確認してください。

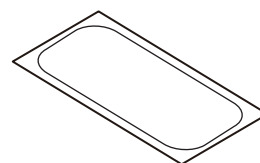
1.1.1 標準品



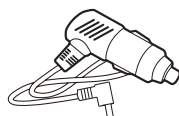
フロントカメラ(本体)



取り付け台



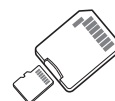
遮熱フィルム



車載充電器



接着式ケーブルホルダー



アダプター付きMicroSDメモリーカード
(消耗品)

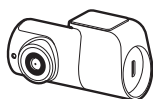


保証書／CS情報



標準品は事前の通知なしに変更される可能性があります。

1.1.2 付属品(別売)



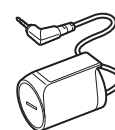
リアカメラ



リアカメラケーブル



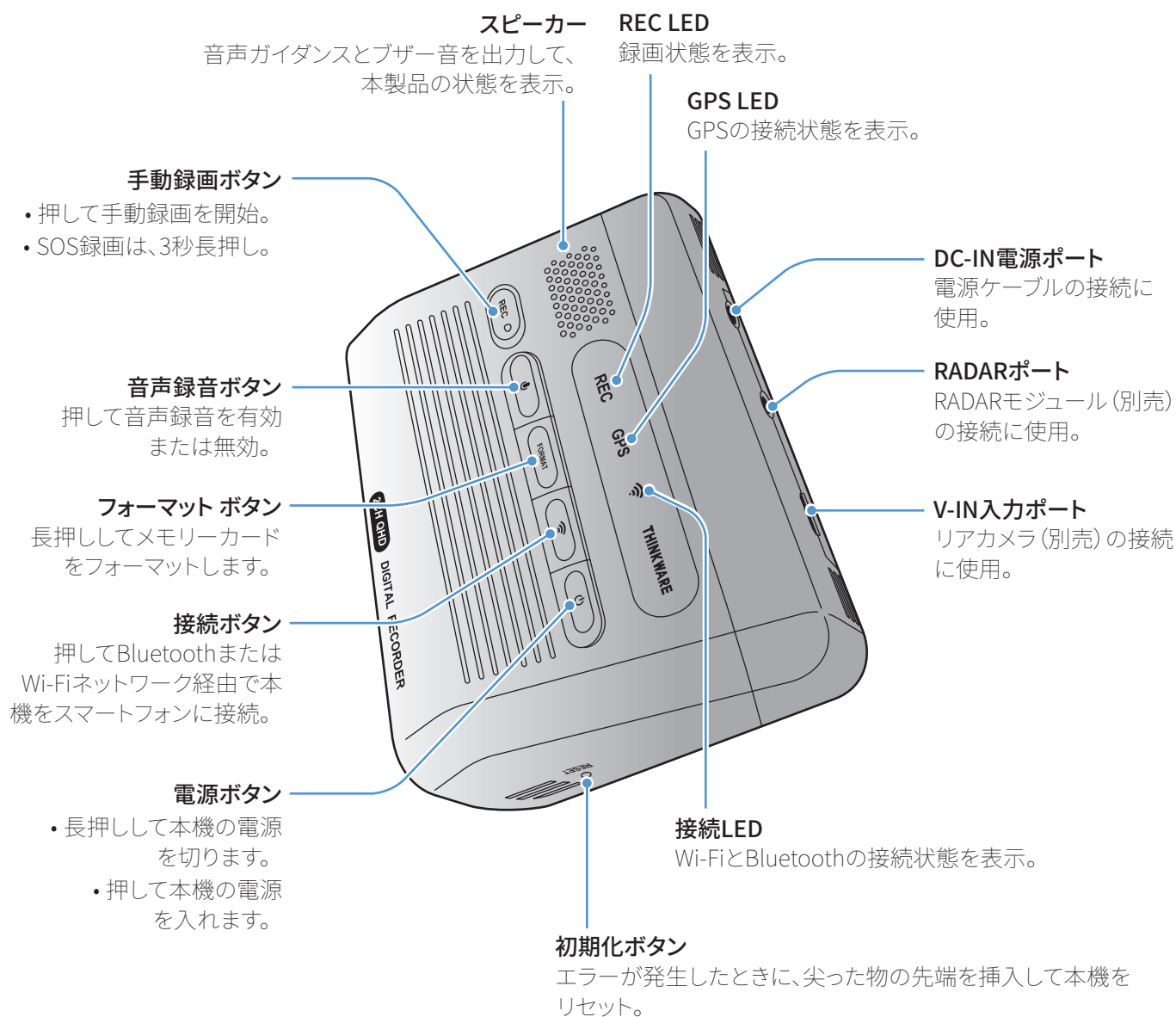
ハードワイヤケーブル



RADARモジュール

1.2 各部の名称

1.2.1 フロントカメラ(本体) - 正面図

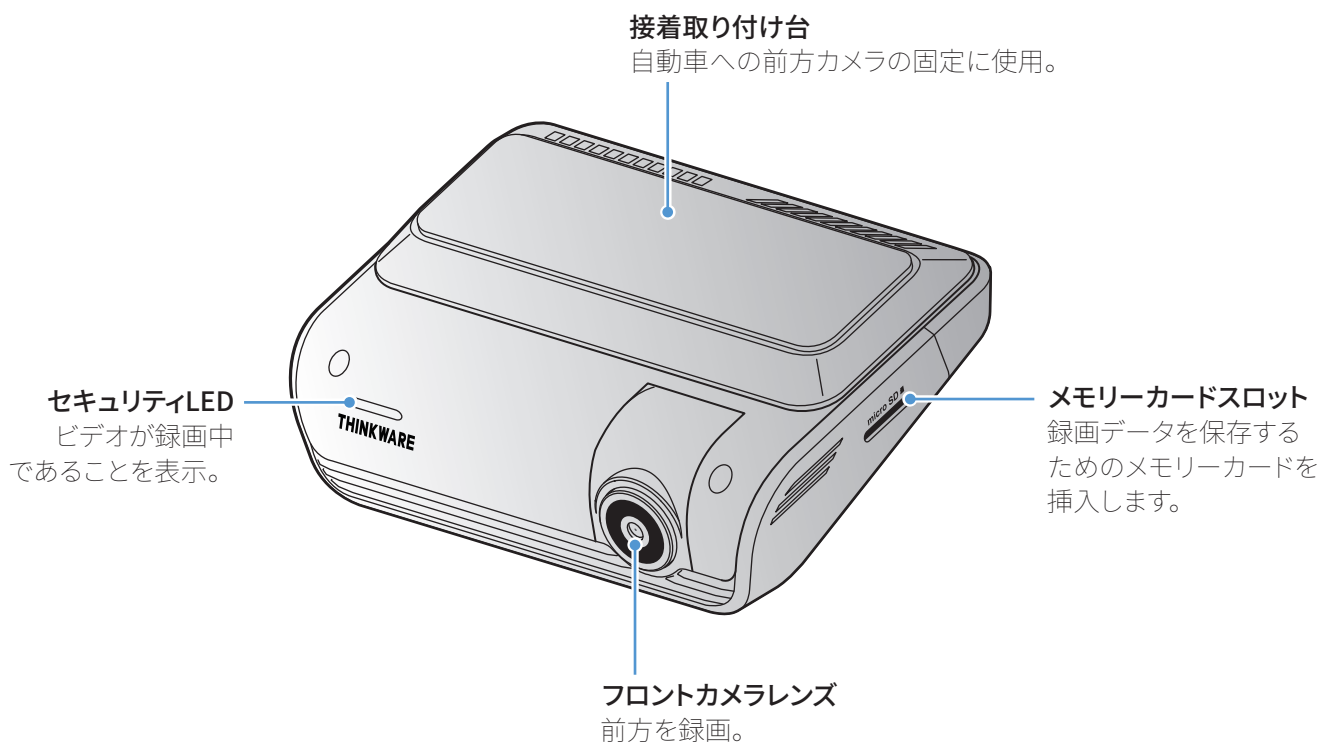




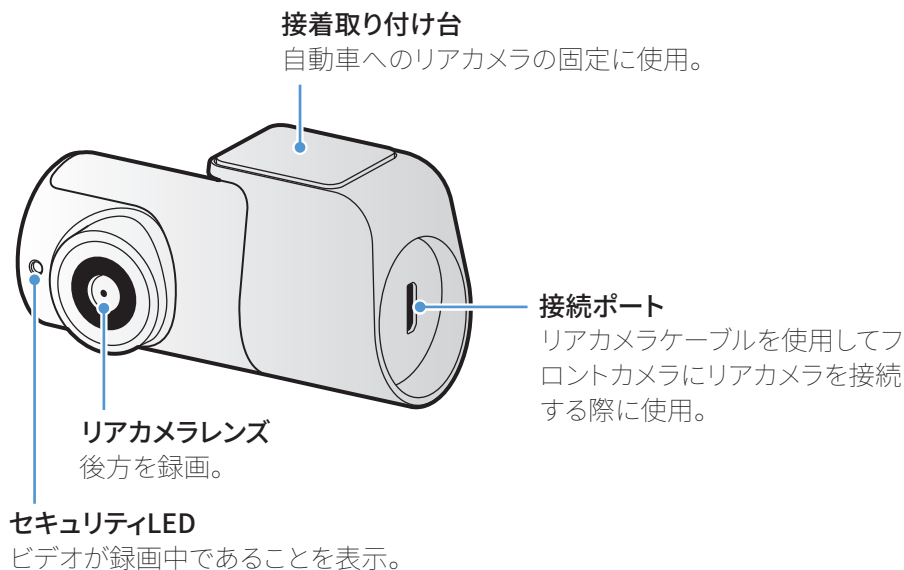
- 本製品をリセットするには、音声録画（）ボタンおよび手動録画（**REC**）ボタンを同時に、ピープ音が聞こえるまで長押しします。
- 次の表を参考にして、LEDインジケーターを使用して本製品の接続ステータスを確認してください。

LED	LEDステータス	動作説明
前方セキュリティLED	 （点灯）	本製品の電源が入っています。
接続LED	 （点灯）	Bluetooth接続済み
	 （点滅）	Bluetoothペアリング中
	 （点灯）	Wi-Fi接続済み
	 （点滅）	インターネットモードペアリング中（未接続）
	 （点灯）	インターネットモード接続済み
	 （速く点滅）	SOS録画
	 （点滅）	Bluetooth／Wi-Fiリセット
REC LED	 （点灯）	常時録画／駐車録画（タイムラプス）
	 （点滅）	手動録画／事象録画／駐車録画（モーション検知）
	オフ	駐車録画（省エネ）
	 （速く点滅）	SOS録画
GPS LED	 （点灯）	GPS有効

1.2.2 フロントカメラ(本体) - 背面図



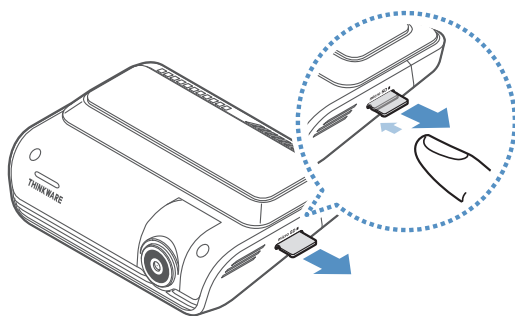
1.2.3 リアカメラ(別売)



国の法規制により、セキュリティLEDの仕様が異なる場合があります。

1.3 メモリーカードの取り外しと挿入

次の手順で本製品からのメモリーカードの取り外し、または本製品へのメモリーカードの挿入を行ってください。



メモリーカードを取り外す前に、本製品がオフになっていることを確認してください。メモリーカードの底部を爪で軽く押して解放し、本製品から取り外します。

メモリーカードをメモリーカードスロットに挿入するには、メモリーカードの金属接触部が本製品のボタンの方を向いていることを確認して、メモリーカードをカチッという音が聞こえるまで差し込みます。



- メモリーカードを取り外す前に、必ず本製品の電源をオフにしてください。本製品の電源がオンになっているときにメモリーカードを取り外した場合、記録されたビデオのファイルが破損または消失することがあります。
- メモリーカードを正しい向きにして、本製品に差し込んでください。メモリーカードが正しく差し込まれていない場合、メモリーカードスロットやメモリーカードが損傷することがあります。
- THINKWAREが認定したメモリーカードのみを使用してください。THINKWAREは、サードパーティーのメモリーカードの互換性や通常動作を保証しません。



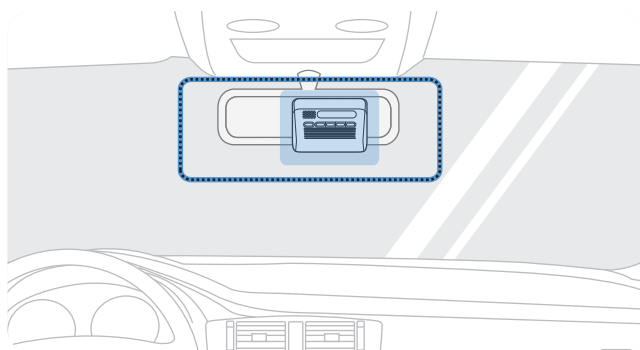
記録されたビデオを消失しないように、ビデオファイルを別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

2. 本製品の設置

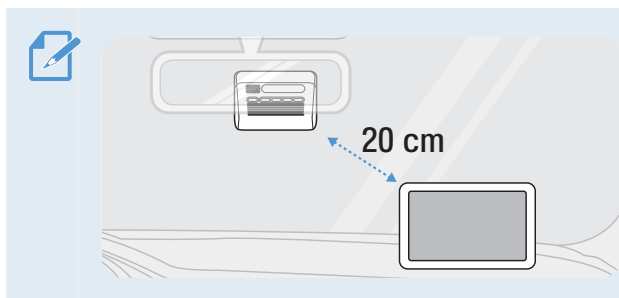
2.1 フロントカメラ(本体)の設置

次の手順で本製品を正しく設置してください。

2.1.1 設置位置の選定



運転手の視界を妨げず、自動車の前部がすべて映像として記録できる設置位置を選んでください。フロントカメラのレンズがフロントガラスの中央に配置されていることを確認してください。



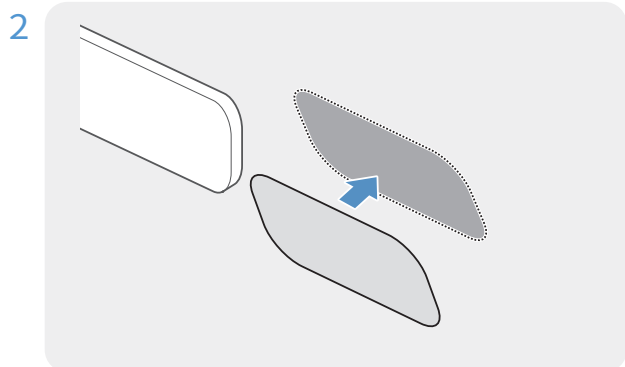
GPSナビゲーション装置をダッシュボード上に取り付ける場合、ダッシュボードカメラの設置位置によって、GPS受信が影響を受ける可能性があります。

GPSナビゲーション装置の取り付け位置を調整して、2つの装置を20センチ(約8インチ)以上離してください。

2.1.2 本製品の固定

次の手順で本製品を設置位置に固定してください。

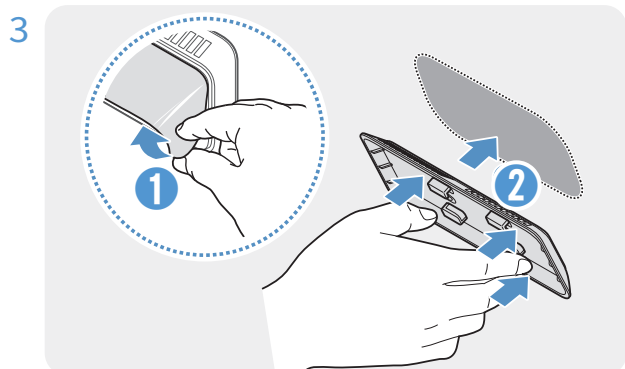
- 1 設置位置を決めたら、乾いた布でフロントガラスの設置位置を拭きます。



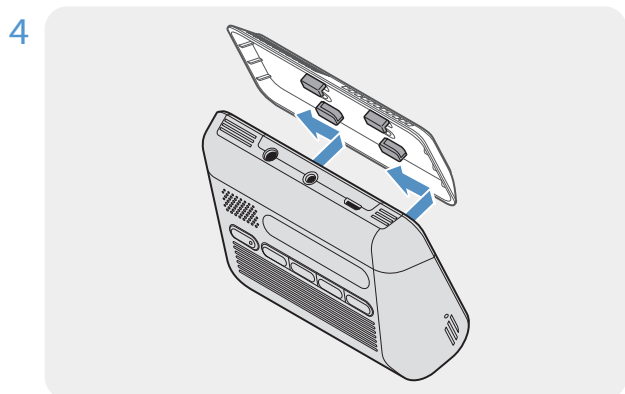
設置場所に遮熱フィルムを貼ります。



遮熱フィルムは、フロントカメラを遮らない場所に貼り付けてください。



接着取り付け台から保護フィルムをはがして、取り付け台を遮熱フィルムに押し付けます。取り付け台をフロントガラスに押し付けて、取り付け台がしっかりと固定されていることを確認します。

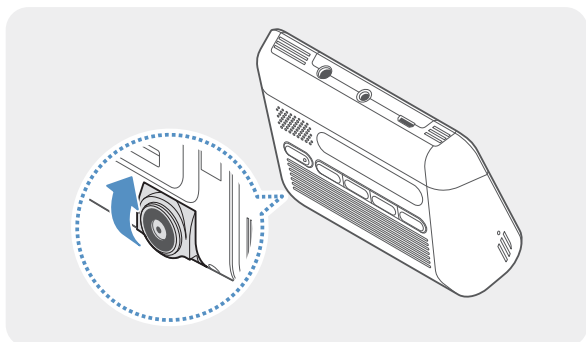


本製品を取り付け台に合わせて、カチッと音がするまでロック箇所へスライドさせます。



- 取り付け台にしっかりと固定されていない場合、本製品が運転中に落下したり損傷したりする可能性があります。
- 設置位置を変更するためにフロントガラスから取り付け台を取り外す必要がある場合は、フロントガラスのフィルムコーティングに傷をつけないように注意してください。

5



カメラの垂直アングルを適切に設定します。



本製品と取り付け台が完全にはまっていない場合、スライドロックの赤い部分が見えます。



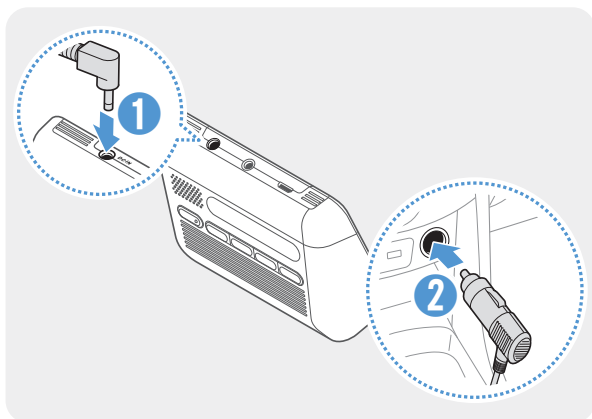
カメラの角度を確認するには、設置後ビデオを録画して、モバイルビューワーやPCビューワーを使用して映像を確認してください。カメラの角度は適宜調整し直してください。モバイルビューワーまたはPCビューワーの詳細は、24ページの「4. モバイルビューワーの使用」または26ページの「6. PCビューワーの使用」を参照してください。

2.1.3 電源ケーブルの接続

エンジンと電気アクセサリーの電源がオフのときに車載充電器を接続してください。



車両への配線ケーブル（別売）の取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください。



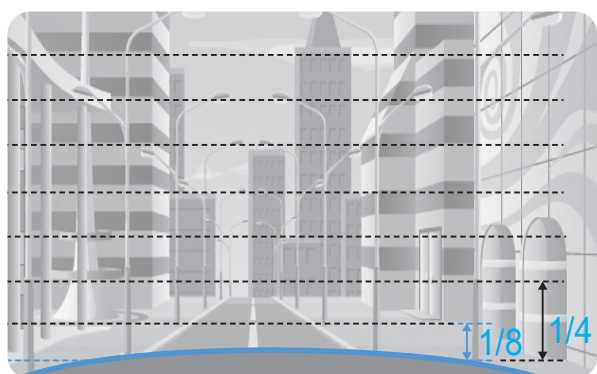
車載充電器を製品のDC-IN電源ポートに接続し、シガーソケットを車両の電源ソケットに差し込みます。



電源ソケットの位置と仕様は、自動車メーカーとモデルによって異なる場合があります。



- THINKWARE純正車載充電器を使用してください。サードパーティーの電源ケーブルを使用した場合は本製品が損傷し、電圧差による電気火災や感電死の恐れがあります。
- お客様自身で電源ケーブルを切断したり改造したりしないでください。本製品や自動車を損傷する恐れがあります。
- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。ケーブルの配線に関する詳細は、www.thinkware.comにアクセスしてください。



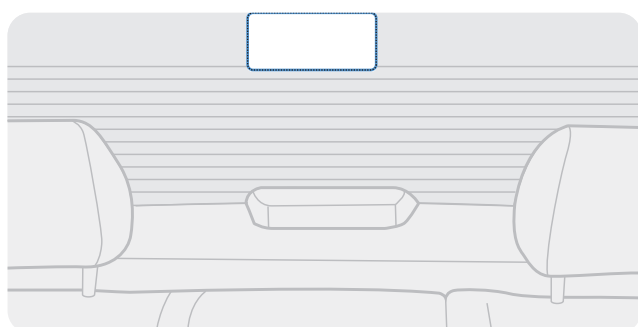
本製品を、お使いのスマートフォンの**THINKWARE DASH CAM LINK**に接続し、左の図のように、ライブビュー画面を見ながら車のボンネットが4分の1～8分の1入るようにカメラの角度を調整します。

THINKWARE DASH CAM LINKの接続および使用の詳細は、24ページの「4. モバイルビューワーの使用」をご覧ください。

2.2 リアカメラ(別売)の設置

次の手順でリアカメラを正しく設置してください。

2.2.1 設置位置の選定



リアガラスの熱線のない位置を選び、カメラが後方全体を録画できるようにします。



- リアガラスにサンシェードのついている自動車については、サンシェードがカメラの動きを妨げない位置を選んでください。
- リアカメラの接着部分が熱線に触れないようにしてください。

2.2.2 リアカメラの固定

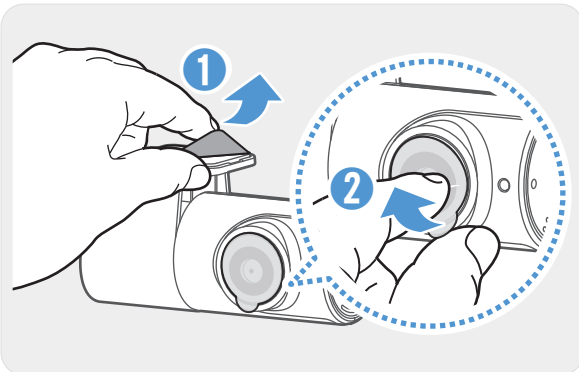
次の手順で本製品を設置位置に固定してください。

- 1 設置位置を決めたら、乾いた布でフロントガラスの設置面を拭きます。



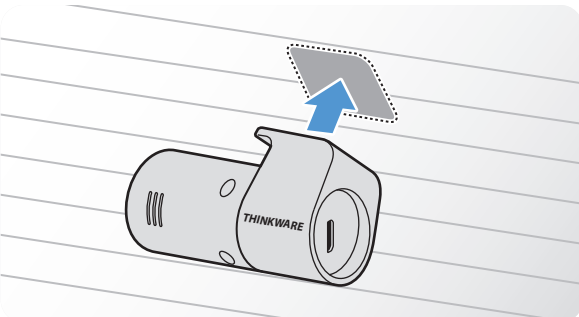
リアカメラをリアガラスに固定する前に、設置位置を確認してください。リアカメラをガラスに固定すると、接着力の強さにより、カメラを外したり、設置位置を変更したりすることが難しくなります。

2



接着取り付け台とカメラレンズから保護フィルムをはがします。

3

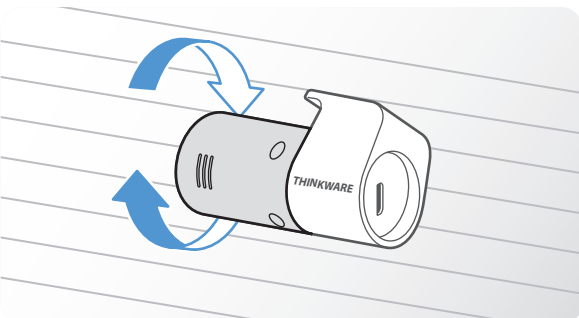


THINKWAREロゴを内側に向けて本製品を着け、カメラが固着するように接着テープ部分を強く押します。



本製品が逆さに固定されてしまうと、後方が逆さまに録画されます。

4

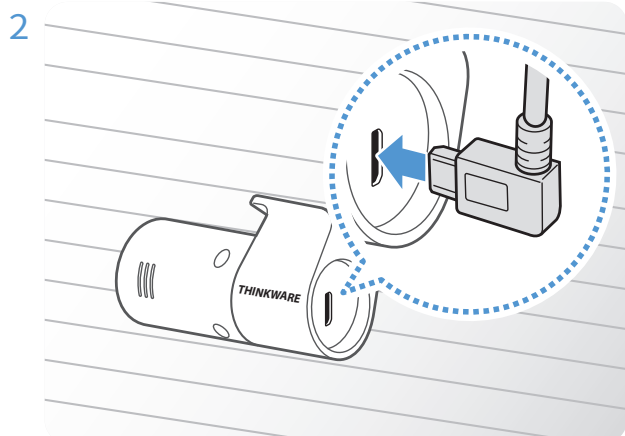


カメラの垂直アングルを調整します。

2.2.3 リアカメラケーブルの接続

本製品の電源をオフにして、リアカメラケーブルをフロントカメラ（本体）に接続します。

- 1 リアカメラケーブルの一端を、フロントカメラのV-INポートにつなぎます。



後方カメラケーブルの別の一端を、後方カメラの接続ポートにつなぎます。



安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。

- 3 電源（ACC）をオンにするか、エンジンを始動して本製品の電源が入るかを確認します。本製品の電源が入ると、音声ガイダンスがオンになります。



ACCモードがオンになるか、またはエンジンがスタートすると、本製品の電源が入ります。

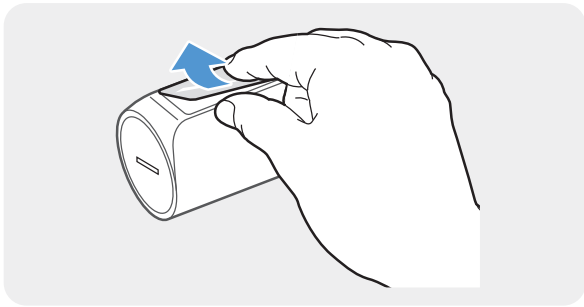
2.3 RADARモジュール（別売）の設置

次の手順でRADARモジュールを正しく設置してください。RADARモジュールのケーブルの長さを考慮しながら、本製品の近くにRADARモジュールを設置します。



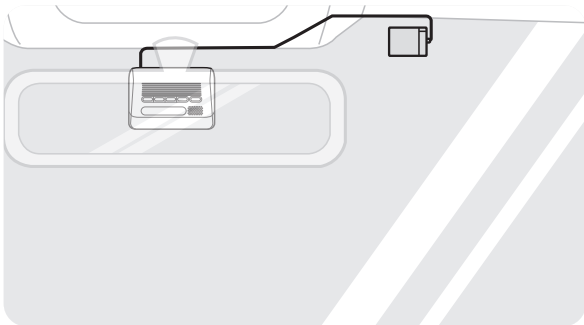
- RADARモジュール（別売）がレーダー領域で物体を検知すると、省エネがオフになり、衝撃検知が30秒間にセットされます。（衝撃が検知されなければ、本製品は録画を保存せず、省エネに戻ります）。
- レーダー領域で物体と衝撃が検知されると、ビデオが20秒間録画され、「parking_rec」フォルダに保存されます。（ブザーが鳴ります。）録画が終了すると、本製品は省エネに戻ります。

1



RADARモジュールの裏側のフィルムをはがします。

2

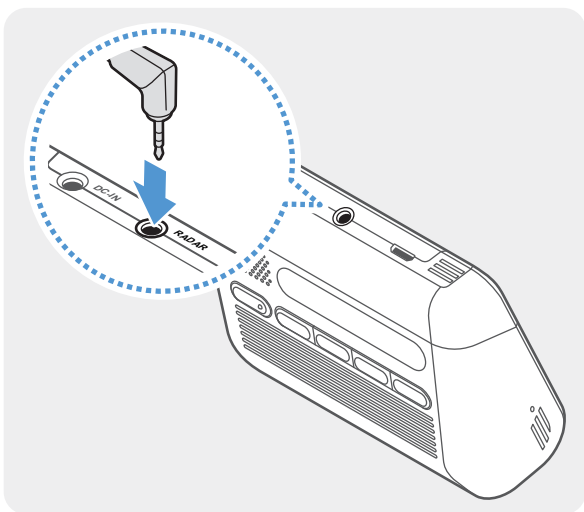


RADARモジュールの接着面をフロントガラス上部に貼り付け、接着部分を強く押して固定させます。



設置する前に、RADARモジュールのケーブルの配線経路とケーブルの長さが十分であることを確認してください。

3



RADARモジュールを本製品のRADARコネクタに接続します。



RADARモジュールを接続する前に、RADARコネクタの位置を再度確認してください。RADARモジュールをDC-IN電源コネクタに接続すると、ポート内部のピンが損傷することがあります。

- 4 電源 (ACC) をオンにするか、エンジンを始動して、本製品の電源が入るかを確認します。本製品の電源が入ると、REC LEDと音声ガイダンスがオンになります。

3. 録画機能の使用

3.1 本製品のオン/オフ

ACCの電源をオンにするか、エンジンを始動すると、本製品の電源が自動的に入り、常時録画がはじまります。



電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。ビデオ録画は、本製品が完全にオンになる（起動が完了する）までは開始しません。

3.2 ファイルの保存場所について

ビデオは、録画モードに合わせて次のフォルダに保存されます。

モバイルビューワーで	常時録画	常時衝撃	手動録画	駐車モーション	駐車衝撃	SOS録画
メモリーカード内	cont_rec	evt_rec	manual_rec	motion_ timelapse_rec	parking_rec	SOS_rec



ビデオは、Window/Macパソコンで、または**THINKWARE DASH CAM LINK**を使用して、再生してください。メモリーカードをスマートフォンやタブレット端末に挿入してビデオを再生すると、ビデオファイルが失われる可能性があります。



ファイル名は録画開始日時と録画オプションを基に構成されています。

REC_	YYYY_MM_DD	HH_MM_SS	F	MP4
REC_	2022_07_01	10_25_30	R	MP4

録画状況

- F: フロントカメラ
- R: リアカメラ（別売のリアカメラが装備されている場合）

3.3 継続録画機能の使用

電源ケーブルを製品のDC-IN電源ポートに接続し、車両の電気アクセサリをオンにするかまたはエンジンを始動します。音声ガイダンスで、継続録画が開始されたことが示されます。

本製品は、常時録画中に以下のような動作をします。

モード	動作説明	REC LED
継続録画	運転中、ビデオは1分毎に録画され、「cont_rec」フォルダに保存されます。	 (点灯)
事故継続録画*	車両への衝撃が検知されると、ビデオは20秒間（検知10秒前から検知10秒後まで）録画され、「evt_rec」フォルダに保存されます。	 (点滅)

* 継続録画中に車両への衝撃が検知されると、警告音が2回鳴り、事故継続録画が始まります。



- 電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。ビデオ録画は、本製品が完全にオンになる（起動が完了する）までは開始しません。
- 事故継続録画が始まると、開始を通知する警告音「ビー」が2回鳴ります。
- 録画を有効にするには、メモリーカードを本製品に挿入する必要があります。

3.4 手動録画

運転中にキャプチャーしたい光景を録画して別のファイルに保存することができます。

手動録画を開始するには、手動RECボタンを押してください。音声ガイダンスで、手動録画が開始されたことが示されます。

本製品は、手動録画中に以下のような動作をします。

モード	動作説明	REC LED
手動録画	手動録画 (REC) ボタンを押すと、ビデオは1分間 (ボタンを押す10秒前からボタンを押した50秒後まで) 録画され、「manual_rec」フォルダに保存されます。	 (点滅)

3.5 SOS録画機能の使用

運転中に事故が発生した場合、光景を録画して別のファイルに保存することができます。

SOS録画を開始するには、RECボタンを3秒間押してください。本製品は、SOS録画中に以下のような動作をします。

モード	動作説明	接続LED／ REC LED
SOS録画	事故発生時RECボタンを3秒間押すと、ビデオは10秒間 (事故の5秒前からボタンを押した5秒後まで) 録画され、「sos_rec」フォルダに保存されます。	 (速く点滅)



- この機能を使用するには、**THINKWARE CONNECTED** アプリにサインインする必要があります。
- ビデオは、事故が発生した位置情報付きで、**THINKWARE CONNECTED** アプリにアップロードされます。

3.6 駐車モードの使用

配線ケーブルを使用して本製品を自動車と接続した場合、エンジンまたは電気アクセサリがオフになった後、作動モードは駐車モードに切り替わり、音声ガイダンスで駐車モードが開始されたことが示されます。



- 駐車モードは、配線ケーブルが接続されている場合にのみ、有効になります。車両への配線ケーブルの取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください。
- すべての録画モードを使用するには、メモリーカードを本製品に挿入する必要があります。
- 自動車のバッテリー状態によって、駐車モードの持続時間が変わることがあります。駐車モードを長時間使用する場合は、バッテリーが上がらないように、バッテリーの状態を確認してください。

駐車モードを使用しない場合、またはモードの設定を変更する場合は、モバイルビューワーで、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]をタップします。

次の表で[駐車モード]オプションを設定してください。

オプション		動作説明	REC LED
駐車モード	モーションまたは衝撃は検知されませんでした	エリア内の動きや車両への衝撃を監視します。モーションまたは衝撃が検知されたときのみに、録画されます。	 (点滅)
	モーションが検知されたら	駐車中に移動物体が検知されると、20秒間（ビデオが検知10秒前から検知10秒後まで）録画され、「motion_timelapse_rec」フォルダに保存されます。	 (点滅)
	衝撃が検知されたら	駐車中に衝撃が検知されると、20秒間（ビデオが検知10秒前から検知10秒後まで）録画され、「parking_rec」フォルダに保存されます。	 (点滅)
タイムラプス	衝撃が検知されなかったら	ビデオは1秒当たりのフレーム数2 fpsで10分間録画され、2分の長さのファイルに圧縮され、「motion_timelapse_rec」フォルダに保存されます。このオプションで録画したビデオファイルは小さいため、長いビデオを録画できます。	 (点灯)
	衝撃が検知されたら	駐車中に衝撃が検知されると、ビデオが1秒当たりのフレーム数2 fpsで100秒間（検知50秒前から検知50秒後まで）録画され、20秒の長さのファイルに圧縮されて、「parking_rec」フォルダに保存されます。（ブザーが鳴ります。）	 (点滅)

オプション		動作説明	REC LED
省エネ	衝撃が検知されなかったら	車両への衝撃を監視します。衝撃が検知されたときのみに、録画されます。	オフ
	衝撃が検知されたら	駐車中に衝撃が検知されると、ビデオが検知後1秒以内から20秒間録画され、「parking_rec」フォルダに保存されます。  • RADARモジュール (別売) がレーダー領域で物体を検知すると、省エネがオフになり、衝撃検知が30秒間にセットされます。(衝撃が検知されなければ、本製品は録画を保存せず、省エネに戻ります)。 • レーダー領域で物体と衝撃が検知されると、ビデオが20秒間録画され、「parking_rec」フォルダに保存されます。(ブザーが鳴ります。) 録画が終了すると、本製品は省エネに戻ります。	 (点滅)
	オフ	電気付属品やエンジンがオフになっていると、本機の電源が切れます。	オフ



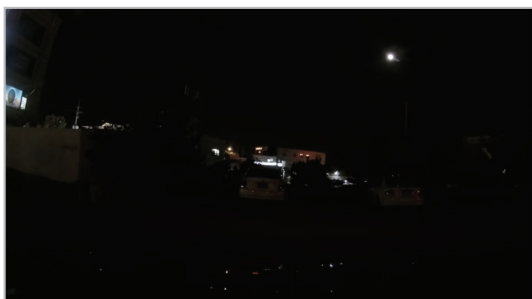
駐車モードの設定を変えると、以前の設定で録画されたビデオが削除されます。データの損失を防ぐには、駐車モードの設定を変える前にすべての駐車モードのビデオをバックアップします。



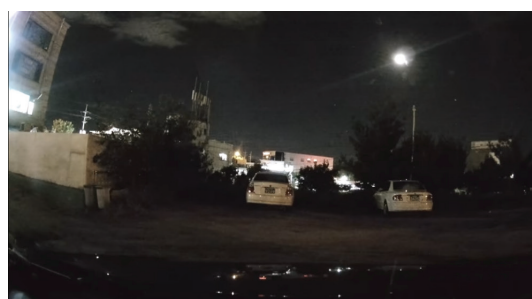
モーション検知、タイムラプス、省エネルギーを同時に使用することはできません。

3.7 スーパーナイトビジョン機能の使用

スーパーナイトビジョン機能を使用すると、使用しない時に比べてはるかに明るい映像が撮影できるようになります。この機能は、リアルタイムISP (画像信号処理) で有効になり、映像の明るさが向上します。



<スーパーナイトビジョン機能が無効になっている時>



<スーパーナイトビジョン機能が有効になっている時>

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [スーパーナイトビジョン]で、スーパーナイトビジョン機能を使用する任意の記録モードを選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

3.8 交通安全警告機能の使用

交通安全警告機能には、交通安全警告システム、LDWS (車線逸脱警告システム)、LDWS速度 (車線逸脱警告システム速度)、FCWS (前方衝突警告システム)、低速FCWS (前方衝突警告システム)、FVDW (前方車両発車警告) が含まれています。

安全機能	説明
LDWS (車線逸脱警告)	リアルタイム映像で車線逸脱を検知し、運転手に警告します。
LDWS速度	車線逸脱を検知し、車の速度が設定速度を超えると運転手に警告します。
FCWS (前方衝突警告)	リアルタイム映像で前方衝突の脅威を検出し、50km/h以上で走行している場合に運転手に警告します。
低速FCWS	リアルタイム映像で前方衝突の脅威を検知し、10～30km/hで走行している場合に運転手に警告します。
FVDW (前方車両発車警告)	前方に停車していた他車の発進を検知し、4秒後に運転手に通知します。



交通安全警告機能では、設定された速度や機能の感度によって、実行される機能が異なります。

4. モバイルビューワの使用

スマートフォンで録画されたビデオを閲覧/管理したり、さまざまな製品の機能を設定したりすることができます。



THINKWARE DASH CAM LINKアプリを使用するには、次のいずれかの環境が必要です。

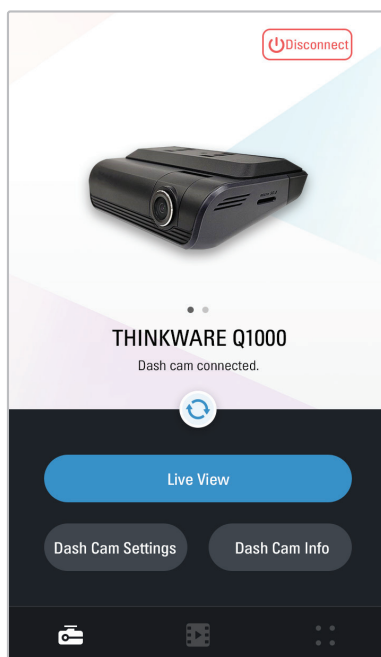
- Android 7.0 (Nougat) 以降
- iOS 13以降

4.1 本機のスマートフォンへの接続

- 1 スマートフォン上でGoogle Play StoreまたはApple App Storeを開き、**THINKWARE DASH CAM LINK**をダウンロードして、インストールします。
- 2 **THINKWARE DASH CAM LINK**を実行します。
- 3 画面下部の[ドライブレコーダーの接続が必要です]をタップして、画面上の指示に従って本製品をスマートフォンに接続します。

4.2 モバイルビューワの画面レイアウトの表示

モバイルビューワの画面レイアウトの概要は、以下の通りです。



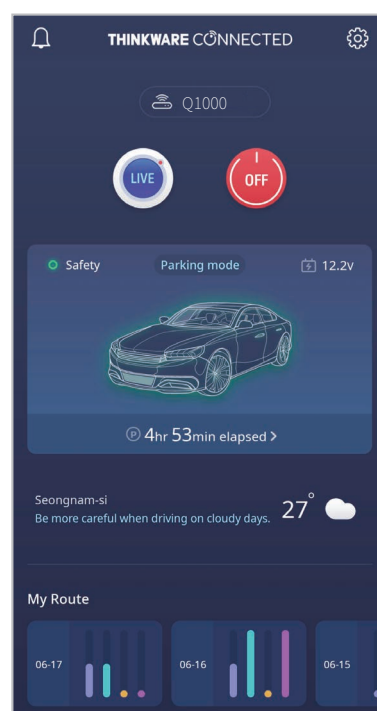
5. THINKWARE CONNECTEDの使用

スマートフォンで録画されたビデオを閲覧/管理したり、さまざまな製品の機能を設定したりすることができます。



- THINKWARE CONNECTEDアプリを使用するには、次のいずれかの環境が必要です。
 - Android 7.0 (Nougat) 以降
 - iOS 11.4以降
- **THINKWARE CONNECTED**アプリで提供されるサービスや機能は、サービスポリシーに応じて変更される場合があります。詳細は、THINKWAREのウェブサイト (<https://www.thinkware.com>) をご覧ください。

- 運転中/駐車中の車の状態
- 車のバッテリーの電圧状態
- ドライブレコーダーの電源オフ
- 運転履歴
- SOS通知、録画ビデオのバックアップ、およびSMS送信
- 運転中衝撃通知、ビデオのバックアップ、およびSMS送信
- 駐車中衝撃通知および録画ビデオのバックアップ
- 事象の位置および録画ビデオのダウンロードおよび共有
- 最新の駐車中に捉えられた前方カメラの画像
- リアルタイムの車両の位置
- リモートライブビュー



5.1 THINKWARE CONNECTEDへの本製品の接続

- 1 スマートフォン上でGoogle Play StoreまたはApple App Storeを開き、**THINKWARE CONNECTED**をダウンロードして、インストールします。



- 2 スマートフォン上で**THINKWARE CONNECTED**を実行し、[サインイン]をタップします。



THINKWARE CONNECTEDを使用するには、THINKWARE IDが必要です。IDをお持ちでない場合、[サインアップ]をタップして、THINKWAREメンバーシップにサインアップしてください。

- 3 サインインしたら、アプリの指示に従います。[機器の登録]をタップし、バーコード番号を入力して製品を登録します。

6. PCビューワの使用

PCで録画されたビデオを閲覧/管理したり、さまざまな製品の機能を設定したりすることができます。

6.1 システム要件

PCビューワを実行するためのシステム要件は以下の通りです。

- プロセッサー: Intel Core i5以降
- メモリー: 4GB以上
- オペレーティングシステム: Windows 7以降 (64ビット推奨)、Mac OS X 10.10以降
- その他: DirectX 9.0以降/Microsoft Explorerのバージョン7.0以降



このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、PCビューワが正しく機能しません。

6.2 PCビューアの詳細

6.2.1 PCビューワのインストール



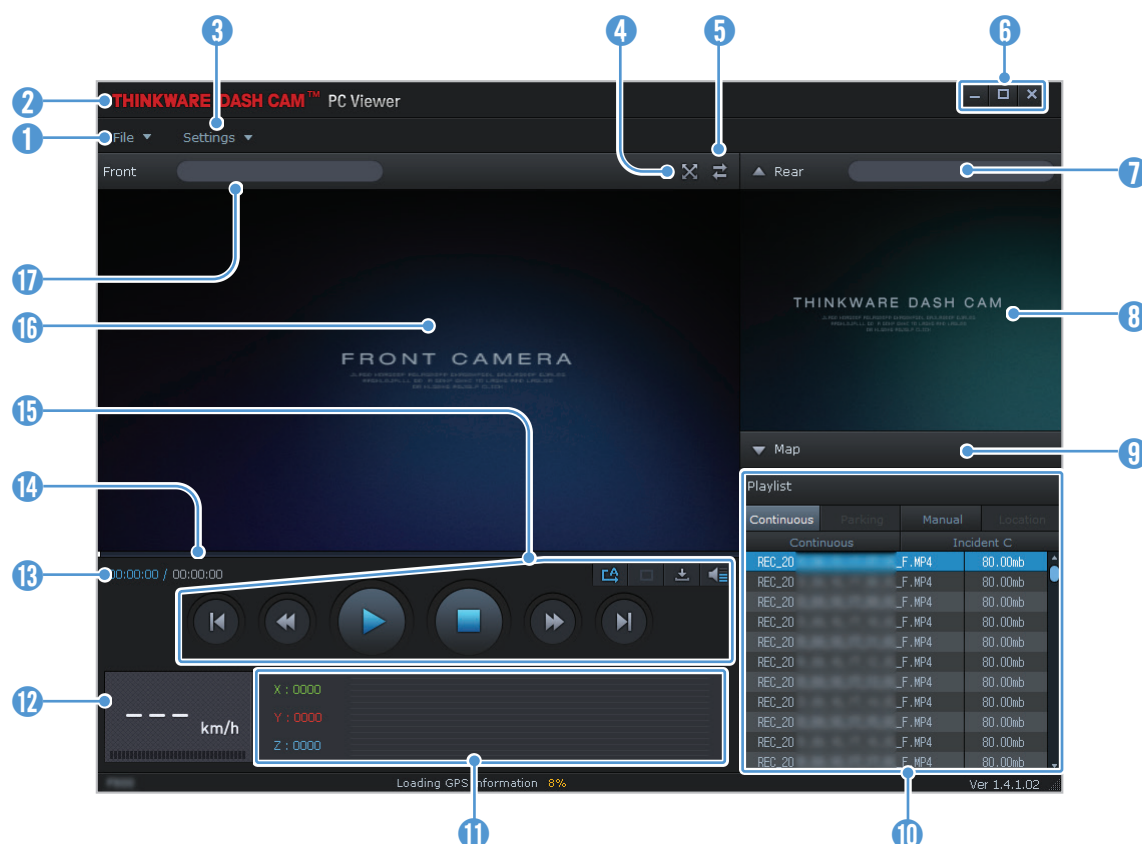
PCビューワの最新のソフトウェアは、THINKWAREウェブサイトからダウンロードできます (<https://www.thinkware.com/Support/Download>)。

PCビューワのインストールファイル (setup.exe) は、本製品と一緒に提供されるメモリーカードのルートフォルダに保存されています。手順に従って、PCビューワをパソコンにインストールしてください。

- 1 PCに接続されているメモリーカードリーダーに、メモリーカードを挿入してください。
- 2 インストールファイルをデスクトップに移動して、起動し、インストールウィザードの手順に従ってインストールを行います。
インストールが完了すると、Thinkwareドライブレコーダービューワのショートカットアイコンが表示されます。

6.2.2 PCビューワー画面のレイアウト (Windows用)

PCビューアの画面レイアウトの概要は、以下の通りです。

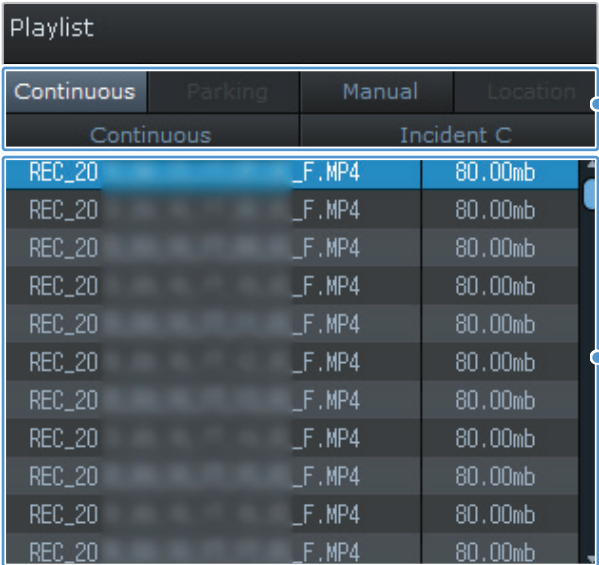


番号	説明
1	ファイルを開くか、別の名前でビデオを保存します。
2	THINKWAREのWebサイトにアクセスします。
3	ドライブレコーダー設定を表示または設定して、PCビューワーの言語を設定します。
4	フルスクリーンで現在のビデオを表示します。[戻る] (戻る) ボタンをタップして、前の画面に戻ります。
5	フロントビデオとリアビデオを切り替えます。
6	ソフトウェアを最小化、最大化、または閉じます。
7	リアカメラビデオファイル名を表示します。
8	リアカメラで録画されたビデオを表示します。
9	地図画面を表示します。
10	再生リストを表示します。
11	録画時のGセンサー値を示します。
12	録画時の自動車の運転速度を示します。
13	現在のビデオの、現在の作動時間および合計作動時間を表示します。
14	ビデオの再生の進捗状況を表示します。
15	ビデオを再生またはコントロールします。
16	フロントカメラで録画されたビデオを表示します。
17	フロントカメラビデオファイル名を表示します。

6.2.3 PCビューワ (Windows用) での録画されたビデオの再生

以下の手順で録画されたビデオを再生してください。

- 1 本製品の電源を切ってメモリーカードを取り外してください。
- 2 PCに接続されているメモリーカードリーダーに、メモリーカードを挿入してください。
- 3 PCビューワのショートカット () をダブルクリックして、プログラムを開きます。メモリーカード内のビデオファイルは、PCビューワ画面の右下隅にある[再生リスト]に自動的に追加されます。[再生リスト]セクションのレイアウトは以下の通りです。



フォルダを選択します。

選択したフォルダにあるビデオのリストを表示します。

Continuous	Incident C	
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb
REC_20	_F.MP4	80.00mb

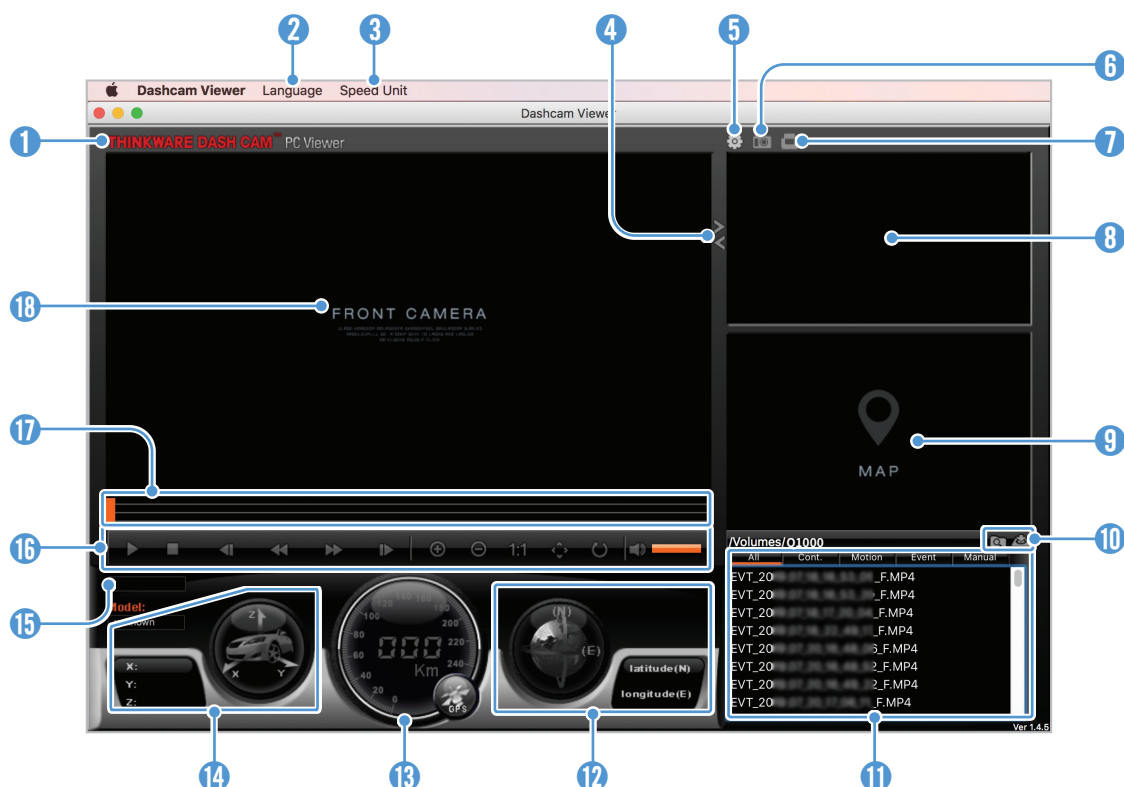
- 4 ビデオフォルダを選択してからビデオファイルをダブルクリックするか、ビデオファイルを選択してから[再生] (▶) ボタンをクリックします。選択されたビデオファイルが再生されます。



PCビューワを実行してもメモリーカードのビデオファイルが再生リストに自動的に追加されない場合は、**[ファイル▼]> [開く]**をクリックしてメモリーカードのリムーバブルメディアを選択し、**[確認]**をクリックします。

6.2.4 PCビューワー画面のレイアウト (Mac用)

PCビューアの画面レイアウトの概要は、以下の通りです。



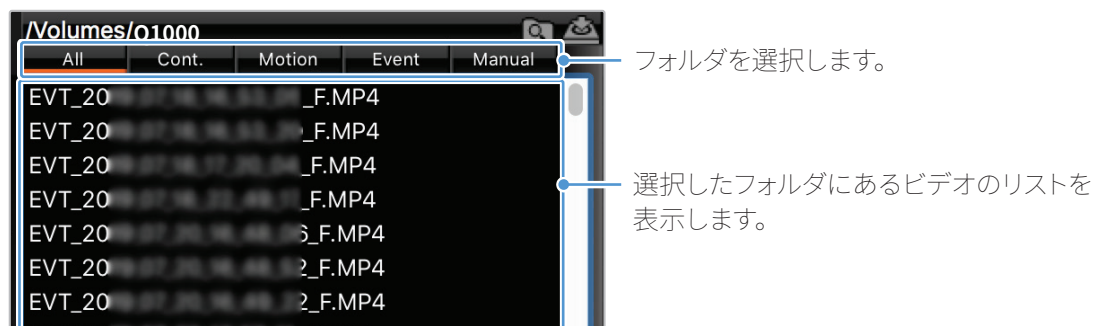
番号	説明
①	THINKWAREのWebサイトにアクセスします。
②	PCビューワーの言語を設定します。
③	速度単位を設定します。
④	フロントビデオとリアビデオを切り替えます。
⑤	ドライブレコーダー設定を表示または設定します。
⑥	現在のシーンを保存します。
⑦	現在のシーンを印刷します。
⑧	リアカメラで録画されたビデオを表示します。
⑨	地図画面を表示します。
⑩	ファイルを開くか、別の名前でビデオを保存します。
⑪	再生リストを表示します。
⑫	録画時のGPS情報を示します。
⑬	録画時の自動車の運転速度を示します。
⑭	録画時のGセンサー値を示します。
⑮	現在のビデオの、現在の作動時間および合計作動時間を表示します。
⑯	ビデオを再生またはコントロールします。
⑰	ビデオの再生の進捗状況を表示します。
⑱	フロントカメラで録画されたビデオを表示します。このペインを右クリックして現在のビデオを画面全体に表示します。

6.2.5 PCビューワ（Mac用）での録画されたビデオの再生

以下の手順で録画されたビデオを再生してください。

- 1 本製品の電源を切ってメモリーカードを取り外してください。
- 2 提供されるSDカードリーダーまたはSDカードアダプターを使用してMacにメモリーカードを挿入します。
- 3 PCビューワを開きます。
- 4  をクリックして、メモリーカードの位置を検索します。

メモリーカード内のビデオファイルは、PCビューワ画面の右下隅にある[再生リスト]に自動的に追加されます。[再生リスト]セクションのレイアウトは以下の通りです。



- 5 ビデオフォルダを選択してからビデオファイルをダブルクリックするか、ビデオファイルを選択してから[再生] (▶) ボタンをクリックします。選択されたビデオファイルが再生されます。

7. 設定

モバイルビューワーまたはPCビューワーを使用して、本製品の機能を自分のニーズと好みに合わせて設定できます。以下の手順は、モバイルビューワーのものです。



モバイルビューワーを設定している間、本機の録画は停止します。

7.1 メモリーカードの管理

モバイルビューアから、[ドライブレコーダー設定] > [メモリーカード設定]とタップして、メモリーカードの設定を管理します。

オプション	説明
メモリーパーティション	メモリー分割の種類を、 常時録画優先 ／ 事故録画優先 ／ 駐車録画優先 ／ 手動録画優先 ／ 運転録画のみ から選択します。
メモリーカードのフォーマット	メモリーカードのフォーマットで、[フォーマット] > [OK]をタップして、メモリーカードのフォーマットを進めます。
録画映像の上書き	録画映像の上書きを可能にするために、好きなモードを選択します。

7.2 カメラの設定

モバイルビューアから、[ドライブレコーダー設定] > [カメラ設定]とタップして、カメラの設定を調整します。

オプション	説明
解像度 - 前方／後方	前方／後方の希望の解像度を、 QHD 30 fps + QHD 30 fps ／ FHD 60 fps + FHD 30 fps から選択します。
輝度 - 前方	前方カメラの明るさを 暗い ／ 中間 ／ 明るい から選択します。
輝度 - 後方	後方カメラの明るさを 暗い ／ 中間 ／ 明るい から選択します。
後方カメラの回転	有効 ／ 無効 を選択して、後方ビュー画像の上下を反転させます。

7.3 録画機能の設定

モバイルビューアから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップして、録画機能の設定を管理します。

オプション	説明
常時衝撃感度	感度を、 無効 ／ 最低 ／ 低 ／ 中 ／ 高 から選択します。
スーパーナイトビジョン	スーパーナイトビジョン機能を 無効 ／ 常時モード ／ 駐車モード ／ 常時+駐車 から選択します。
HDR	HDR機能を AUTO ／ 有効 ／ 無効 にする場合に選択します。
プライバシー録画の設定	他者のプライバシーを保護するために、設定した時間が経過すると録画ファイルが削除されるように プライバシー録画機能を設定できます。プライバシー録画設定は、 無効 ／ 強い ／ 普通 から選択します。
駐車モード	駐車モードを 無効 ／ モーション検知 ／ タイムラプス ／ 省エネ から選択します。
スマート駐車録画	有効 ／ 無効 から選択します。
駐車衝撃感度	5つの駐車衝撃感度から1つを選択します。
モーション感度	5つのモーション感度から1つを選択します。
外部バッテリーの使用	有効 ／ 無効 から選択します。
録画終了タイマー	好きな録画時間を選択します。録画終了タイマーをオフにするには、 無効 を選択します。
低電圧シャットダウン機能	バッテリー保護を 有効 ／ 無効 にする場合に選択します。
録画終了電圧	録画終了電圧を 12V(11.6～13.2V) ／ 24V(23.2～24.6V) から選択します。
冬季カットオフ電圧	月を設定してバッテリー保護機能を適用します。
RADAR	有効 ／ 無効 から選択します。



- ・駐車モードを使用するには、配線ケーブルの設置が必要です。常時電源が本製品に供給されないと、自動車のエンジンがかかっていない時に本製品の録画が停止します。
- ・駐車中は、自動車のバッテリーが充電されません。駐車モードで長時間録画すると、自動車のバッテリーが上がったり、自動車のエンジンがかからなくなったりすることがあります。



- ・駐車モードの詳細は、21ページの「3.6 駐車モードの使用」をご覧ください。
- ・[バッテリー保護]設定が[有効]に設定されている場合にのみ、バッテリー遮断電圧を設定できます。
- ・オフ電圧値が低すぎると、車両タイプや温度などの条件によって、本製品がバッテリーを完全に消費する可能性があります。

7.4 交通安全警告機能の設定

モバイルビューアから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップして、交通安全警告機能の設定を管理します。

オプション	説明
交通安全警告	交通安全警告を有効／無効にする場合に選択します。
モバイルゾーン警告	モバイルゾーン警告を有効／無効にする場合に選択します。
車両タイプ	車両タイプをセダン／SUV／トラック(バス) から選択します。
ADASを初期化	[ADASを初期化]で、[初期化] > [OK]をタップして、初期化を行います。
LDWS(車線逸脱警告)	LDWS感度を無効／鈍感／中間／敏感から選択します。
LDWS速度	LDWS検出速度を50km/h／60km/h／80km/h／100km/hから選択します。
FCWS(前方衝突警告)	感度を無効／鈍感／中間／敏感から選択します。
低速FCWS	感度を無効／鈍感／中間／敏感から選択します。
FVDW(前方車両発車警告)	FVDW機能を有効／無効にする場合に選択します。

7.5 システム設定

モバイルビューアから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップして、ハードウェアシステムを設定します。

オプション	説明
言語	好きな言語を選択します。
音量	各機能(交通安全警告／ADAS／システム)の音量を選択します。
セキュリティLED	セキュリティLEDを有効／無効にする場合に選択します。
後方カメラLED	後方カメラLEDを有効／無効にする場合に選択します。
タイムゾーン	日付と時刻を選択します。
夏時間設定	夏時間設定を有効／無効にする場合に選択します。
速度単位	速度単位をkm/h／mphから選択します。
スピードスタンプ	スピードスタンプを有効／無効にする場合に選択します。
音声の録音	音声録音を有効／無効から選択します。
Wi-Fi周波数帯域	Wi-Fi周波数を2.4GHz／5GHzから選択します。
インターネット	インターネットを有効／無効にする場合に選択します。



音量レベルで0を選択すると、音声ガイダンスが無効になります。

8. 製品情報の確認

メニュー画面からアクセスできる基本的な製品情報から、新しいユーザーは大切な情報を見つけることができるかもしれません。

8.1 製品情報の表示

モバイルビューワーから、[デバイス情報]をタップして、製品情報を表示します。次の製品情報が画面に表示されます。

- 製品名
- ファームウェア
- 交通安全警告バージョン
- Micomバージョン
- メモリーカードの容量
- ローカルID
- GPS情報

8.2 GPSへのアクセスおよび設定

GPSモジュールは、記録されたビデオに位置データを含めるために使用されます。モバイルビューワーから、[デバイス情報] > [GPS情報]をタップして、GPS機能を表示します。接続ステータス、シグナル強度、時間(UTC)、車両速度、現在の高度、HDOP (水平精度低下率)が画面に表示されます。

 をタップしてGPSを初期化し、現在の位置を特定できるようにします。



水平精度低下率 (HDOP)

HDOPとは、衛星測位によるGPS偏差の値です。

9. ファームウェアのアップグレード

ファームウェアをアップグレードすると、本製品の機能や動作が強化されたり、安定性が向上したりします。本製品を最適に動作させるには、ファームウェアを最新の状態に保つ必要があります。

次の手順でファームウェアをアップグレードしてください。

- 1 PC上でWebブラウザを開き、<https://www.thinkware.com/Support/Download>にアクセスしてください。
- 2 本製品を選択して最新のファームウェアアップグレードファイルをダウンロードしてください。
- 3 ダウンロードしたファイルを解凍してください。
- 4 本製品の電源を切ってメモリーカードを取り外してください。
- 5 PC上でメモリーカードを開き、ファームウェアのアップグレード用ファイルをメモリーカードのルートフォルダにコピーしてください。
- 6 本製品の電源がオフの間に、メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込んでください。
- 7 電源ケーブルを本製品に接続して、電源 (ACC ON) をオンにするか、エンジンを始動することで本製品の電源をオンにします。ファームウェアのアップデートは自動的に始まり、ファームウェアの更新が完了するとシステムは再起動します。



アップグレード中は、電源を切ったりメモリーカードを本製品から取り外したりしないでください。本製品やメモリーカードに保存されたデータに重大な損害を与える恐れがあります。



モバイルビューワーやPCビューワーでファームウェアを更新することもできます。

10.トラブルシューティング

以下の表には、本製品をご使用の際に発生する可能性のある問題とその対策が示されています。表に記載された対策を講じても問題が解決しない場合は、カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

問題	解決策
製品の電源が入らない。	- 電源ケーブル(別売の配線ケーブルまたは車載充電器)が自動車と製品に正しく接続されていることを確認してください。 - 自動車のバッテリーのレベルを確認してください。
音声ガイダンスまたはブザーが鳴らない。	音量が最小値に設定されていないか確認してください。
ビデオが不明瞭またはほとんど見えない。	- カメラレンズの保護フィルムがはがされているか確認してください。保護フィルムがカメラレンズについたままだと、ビデオがよく見えません。 - 前方カメラまたは後方カメラの設置位置を確認し、製品をオンにしてカメラの視野角を調整してください。
メモリーカードが認識されない。	- メモリーカードが正しい方向に挿入されているか確認してください。メモリーカードを挿入する前に、メモリーカードの金属接触部が本製品のレンズと向かい合わせになっていることを確認してください。 - 電源を切ってメモリーカードを取り外し、メモリーカードスロットの接触部が損傷していないか確認してください。 - メモリーカードがTHINKWAREによって提供されている純正品であるか確認してください。THINKWAREは、サードパーティーのメモリーカードの互換性や通常動作を保証しません。
録画したビデオがPCで再生できない。	録画されるビデオはMP4ビデオファイルとして保存されます。PCにインストールされているビデオプレイヤーがMP4ビデオファイルの再生をサポートしているか確認してください。
GPS信号を受信できない。	サービス外エリアにいたり、本製品が高いビルの上に位置したりしている場合、GPS信号を受信できないことがあります。また、GPS信号は雷雨や豪雨の際に受信できないことがあります。GPS受信が良好だとわかっている位置で、天候の良い日に再度試行してください。GPS受信が始まるまで最大5分かかる可能性があります。

11.仕様

本製品の仕様については、次の表を参照してください。

項目	仕様	備考
製品名	Q1000	
寸法	100.3 x 71.9 x 30mm	後方カメラ:61 x 27 x 25mm (別売)
メモリー	MicroSDメモリーカード	32GB、64GB、128GB、256GB
録画モード	常時録画	1分毎に録画 (デュアルチャンネルは前方と後方の録画でサポート)
	事故録画	事故前後10秒 (合計20秒) を録画
	手動録画	手動で録画を開始する10秒前から開始した50秒後まで (合計1分) を録画
	駐車録画 (駐車モード)	モーション検知/タイムラプス/省エネ
特徴	スーパーナイトビジョン、フォーマットフリー2.0、バッテリー保護、高温シャットダウン、スマート駐車録画、True HDR、バッテリー遮断電圧	
カメラセンサー	5.14メガピクセル、タイプ1/2.8インチ	
視野角 (レンズ)	約156° (対角)	
ビデオ	デフォルト: QHD (2560 x 1440、30 fps) / H.265 / MP4	オプション: FHD (1920 x 1080、60 fps) / H.265 / MP4
音声	HE-AAC	音声録音ボタンを押して、録音をオン/オフにします。
加速度センサー	3軸加速度センサー (3D、±3G)	5レベルの感度調整が可能
GPS	内蔵GPS	ADAS機能サポート (LDWS、LDWS速度、FCWS、低速FCWS、FVDW)
GNSS	GPS/GLONASS	
Wi-Fi	2.4G、5G、802.11 a/b/g/n/ac	
Bluetooth	Bluetooth V5.0、BLE	
電源入力	DC 12/24Vサポート	
消費電力	2CH: 5.4 W / 1CH: 3.8 W (平均値)	完全に充電されたスーパーキャパシタ/GPSを除く 実際の消費電力は、使用条件や環境により異なります。

項目	仕様	備考
補助電力装置	スーパーキャパシタ	
LEDインジケータ	セキュリティLED、REC LED、GPS LED、 接続LED	
警告	内蔵スピーカー	音声ガイダンス (ブザー音)
作動温度	14～140°F/-10～60°C	
保管温度	-4～158°F/-20～70°C	

サービスセンターへお問い合わせいただく前に

メモリーカードに保存された重要なデータはすべてバックアップしてください。メモリーカードのデータは修正の際に消える可能性があります。修正が必要な製品は、いずれもデータのバックアップが行われた機器と見なされます。カスタマーサービスセンターでは、お客様のデータのバックアップは行いません。THINKWAREは、データの損失などの、いかなる損失についても責任を負いません。

<https://www.thinkware.com>